

授業科目

整形外科学I

| | | | | |
|---------------|------|----|-------|----------|
| 担当教員名 真柄 彰 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 理学・作業・義肢 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |

授業の概要

人体の運動器官にかかわる疾患の診断と治療、リハビリテーションについて学習する。総論として骨・関節、神経・筋肉の機能解剖と病態、運動器の検査・評価法、保存療法、手術療法について学び、各論として炎症性疾患・感染症、関節リウマチ、代謝・内分泌性疾患、退行性疾患、先天性骨・関節疾患、循環障害と壊死性疾患、骨・軟部腫瘍について学習する。

授業の目的

脊髄以下の中枢末梢神経系・骨・関節・筋などの運動器の解剖学と運動学とその障害の改善方法を理解することが、リハビリテーション医学を理解する基礎となることを修得する。

学習目標

- 1) 神経系や運動器の外傷疾病と障害を理解するため整形外科的に評価できる
- 2) 神経系や運動器の外傷疾病に対する整形外科的検査を説明できる
- 3) 保存的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる
- 4) 手術的療法により運動を再獲得する手段とその計画法を説明できる
- 5) 整形外科的な各種の具体的疾患についてその特徴と治療法を説明できる
- 6) 疾患をみるだけでなくその対象者を全体としてとらえることができる

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|----------------------|--------------|------|
| 1 | 整形外科学の基礎知識 骨・関節の基本構造 | 講義 | 真柄 彰 |
| 2 | 骨格筋の基本構造と機能 | 講義 | 真柄 彰 |
| 3 | 神経系の基本構造 | 講義 | 真柄 彰 |
| 4 | 骨・関節、筋・神経の病態生理 | 講義 | 真柄 彰 |
| 5 | 運動器の評価および検査法 運動器の測定法 | 講義 | 真柄 彰 |
| 6 | 運動器の検査法 | 講義 | 真柄 彰 |
| 7 | 関節可動域の測定法 | 講義 | 真柄 彰 |
| 8 | 整形外科学的治療法 保存療法 | 講義 | 真柄 彰 |
| 9 | 手術療法 | 講義 | 真柄 彰 |
| 10 | 整形外科疾病論 炎症性疾患・感染症 | 講義 | 真柄 彰 |
| 11 | 関節リウマチ | 講義 | 真柄 彰 |
| 12 | 代謝・内分泌性疾患、退行性疾患 | 講義 | 真柄 彰 |
| 13 | 先天性骨・関節疾患 | 講義 | 真柄 彰 |
| 14 | 循環障害と壊死性疾患 | 講義 | 真柄 彰 |
| 15 | 骨・軟部腫瘍 | 講義 | 真柄 彰 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|------|-------------------------------|------|--------|-------|----------|-----|
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野整形外科学 第3版 | 立野勝彦 | 医学書院 | 2010年 | 3,500円+税 | |
| | 新潟医療福祉大学 整形外科学 講義レジュメ集 第2版 | 真柄彰 | | 2010年 | | |
| | リハビリテーション総論 | 椿原彰夫 | 診断と治療社 | 2011年 | 3,600円+税 | |

| | | | | | | |
|---------------|-----------------|----------|----|-----------|--------------|--|
| 参考書 | 整形外科疾患ビジュアルブック | 下出真 法 | 学研 | 2012 年 | 3,000円+ 税 | |
| その他の資料 | ポータルサイトに資料を提示する | | | | | |

評価方法

定期試験の結果により全般的理解度と知識について評価する。

履修上の留意点

予習復習にこころがけること

オフィスアワー・連絡先

月：10:00～15:00

木：10:00～13:00

L303研究室 magara@nuhw.ac.jp